



発行／日本共産党

那珂市議会議員

木村 静 枝

『なんでも電話相談』(無料)

TEL/FAX 029-298-2064

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 2,900円
日曜版●月 800円

3月定例議会

審議時間短縮、一般質問中止 東日本大震災で市職員時間とれず

平成23年度第1回定例議会は3月8日から23日までの日程で行われる予定でしたが、11日、東日本大震災に見舞われ、11日に行われていた産業建設常任委員会は途中で中止、その後の14日教育厚生常任委員会も午前中2時間で終了しました。

16日から18日まで3日間の一般質問には、質問者11名が通告していましたが、中止になりました。

23日の最終日には、23年度の予算が採決されましたが、木村静枝議員は予算案に反対し、次のように討論を行いました。

市職員の削減・非正規化は大地震や 原発事故対応に混乱を引き起す

国の構造改革により、那珂市も職員の2割が削減され、非正規化が進んでいます。

今回の東日本大震災や原子力発電所の爆発事故などで、多くの職員が不眠不休で働き、混乱と多忙を極めました。

普段から必要な人数は正職員として確保し、災害にそなえて研修や技術、訓練を積み、いつでも対応できるように安全、安心の体制をつくっておくことが大切だと指摘しました。

国保・介護・水道 事業にも反対

国保会計予算は、基金3億6千万円を取りくずし、国保税を引き下げるべきです。

介護保険は介護サービス給付額が年々減ってきています。特に地域密着型サービスや低所得者に対する特定入所者介護サービスで減額の幅が大きく、サービスを受けられない人が増えてきているのではないかと思います。

後期高齢者医療特別会計は年齢で差別する制度で中止すべきです。もとの老人保健制度に戻すよう要求しました。

水道事業に対しては、無駄な八ツ場ダム建設を中止し、県水の値段を下げるよう県にかさねて要望するよう訴えました。



市議会も 災害対策本部 を設置

3月11日の東日本大震災では、那珂市も甚大な災害を被りました。

那珂市議会は全員協議会を開き、少しでも市の手助けになるよう災害対策本部を設置し、市の対策本部と連携し、地域の被害情報や、住民の要望、苦情収集にあたりました。

所得税の雑損控除対象に塀や墓も

災害又は盗難もしくは横領によつて、資産に損害を受けた場合等には、一定の金額の所得控除を受けることができます。これを雑損控除といいます。

雑損控除の対象になる資産の要件として、「生活に通常必要な住宅、家具、衣類などの資産であること」が一つの要件としてあります。

それには塀、墓、仏壇、

通勤用の自動車などの修復・修繕費も雑損控除の対象となる資産として原則認められます。

控除を受けるのは23年

度分（24年度）申告で控除の適用となります。控除を受けるには、必要書類として被災証明書、写真、領収書等もありますので、ご確認ください。



4月13日 日本共産党北部地区議員団は、地震災害の被災者支援・災害復旧に関して県に要請をしました。

小学6年生まで医療費無料化、ヒブワクチン・小児肺炎球菌助成、子宮頸がんワクチンも中学3年生まで拡大

小・中学生の医療費は入院費のみ無料となっていました。今年度から小学6年生まで通院費も無料（6月以降）となりました。肺炎球菌ワクチンの助成は乳幼児も対象になり、乳幼児はヒブワクチンも全額助成になります。

お金の心配なく病院にかかれるようになりました。



◆みなさんの要求実現◆



旧太田街道349号線の後台地域（茨城学園バス停付近）は、道路の西側に雑草がはえ、歩道がありませんでした。住民から「歩道として整備してほしい」との要望がありました。また、工事途中ですが、23年度には完成する予定です。

芳野小学校

耐震補強工事

契約

契約金額

1億7850万円

（消費税850万円）

岡部・浅川共同企業体が落札

落札率97・7%

天然ガスパイプラインが那珂市に埋設

天然ガスパイプライン「茨城く栃木」整備計画について市から報告がありました。

東京ガスは日立港まで90キロメートルのパイプラインを1000億円の予算で、高速道の側道に埋設することです。